

平成28年第10回 教育委員会定例会議案

多賀城市教育委員会

平成28年第10回教育委員会定例会議事日程

平成28年10月26日（水）

午後4時 開会

多賀城市役所5階 501会議室

日程第1 前回議事録の承認について

日程第2 議事録署名委員の指名について

日程第3 諸般の報告

事務事業等の報告

日程第4 議 事

議案第28号 山王公民館地区及び大代地区公民館における
冷暖房料の設定について

報告第2号 多賀城市立図書館の運営状況等について

報告第3号 平成28年度多賀城市立小・中学校「安心して
過ごせる学校を目指して」調査結果の分析
(多賀城市全体) について

日程第5 その他

諸 般 の 報 告

平成28年第9回教育委員会定例会以降の事務事業の執行状況及び諸会議等の状況は、次のとおりです。

■教育総務課関係

9月13日に開会した「平成28年第3回市議会定例会」は、9月30日で18日間の会期が終了しました。教育委員会関係議案は、「平成27年度一般会計歳入歳出決算」及び「平成28年度一般会計補正予算（第3号）」の議案が原案可決されました。一般質問については、9月29日、30日の2日間行われ、教育委員会関係は5名から6件の質問がありました。

10月3日、第3回市議会定例会で同意された教育長、根來興宣委員に対し、市長から辞令の交付がありました。同日、「第3回教育委員会臨時会」が開催され、教育長職務代理者に浅野憲隆委員を教育長において指名したことを報告しました。

10月14日、文部科学省で「平成28年度地方教育行政功績者表彰式」が挙行され、前教育長の菊地昭吾氏が、長年にわたる本市教育行政への尽力に対し、文部科学大臣から地方教育行政功績者表彰を受彰されました。

■学校教育課関係

10月4日と12日の両日、「塩竈地区障害児就学指導委員会代表専門委員会」が当市で開催され、二市三町の特別に支援を要する児童生徒等の来年度の進路等について検討が行われました。本市分では、4日に在学児童生徒20名、12日に未就学児18名について審議していただきました。

市内中学校の「校内合唱コンクール」については、10月5日に多賀城中学校、10月6日に高崎中学校、10月15日に東豊中学校、10月20日に第二中学校が、それぞれ市文化センターで開催しております。

10月8日、多賀城小学校で運動会が行われました。

市内小学校の「学習発表会」については、10月15日に天真小学校、10月22日に多賀城八幡小学校で行われており、「学芸会」については、10月22日に多賀城東小学校、山王小学校で行われ、10月29日には城南小学校で行われる予定です。

来年度新入学児童を対象とした「就学時健康診断」が、10月25日の多賀城小学校を皮切りに、10月28日に山王小学校、11月8日に城南小学校、11月9日に多賀城東小学校、11月15日に天真小学校、11月30日に多賀城八幡小学校の順で行われます。対象児童数は、全小学校で589名となっており、昨年度と比較し57名の増となっております。

9月2日と10月25日の両日、宮城県仙台教育事務所と共同で「小中学校事務指導」を実施し、各小中学校の校長及び事務職員に対して、学事関係及び経理関係の事務処理上の指導を行いました。

■生涯学習課関係

9月24日、「市民スポーツ大会グラウンドゴルフ大会」が開催され、31行政区から51チーム331名が参加しました。黒石崎Aチームが優勝、準優勝は

鶴ヶ谷Bチーム、3位は浮島GG愛好会Aでした。

10月2日、多賀城東小学校と東豊中学校で「歌とダンスのワークショップ」が開催されました。NPO法人じぶん未来クラブの協力で実施しているヤングアメリカンズによるこの催しには、9月30日から10月2日まで文化センターを会場に子どもから大人まで109名が参加し、523名の観客を集めました。

10月8日、富山県高岡市で「第1回万葉故地サミット総会」が開催され、市長と生涯学習課長が関連の催しに出席しました。万葉集ゆかりの10自治体の代表が集い、各地の取組を紹介しました。

10月8日、「第41回全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門プレ大会」、「第2回みやぎ高校吹奏楽祭」が開催され、1,350名が来場しました。

10月9日、「第18回史都多賀城万葉まつり」が開催され、スタッフを含め3,300名の参加者がありました。同日行われた「第38回大伴家持のつどい短歌大会表彰式」では、一般の部、小中学生の部合わせて41作品が披露されました。

10月10日、総合体育館で「スポーツフェスティバル」が開催され、走り方教室や健康相談、ニュースポーツ体験などの多彩な催しが行われ、1,470名が来場しました。

10月18日、「平成28年第2回社会教育委員会議」が開催され、社会教育事業の経過報告のほか協働教育の評価を行いました。

10月22日、名取市文化会館で「みやぎ県民文化祭」が開催され、多賀城市芸術文化協会が舞台・展示の発表を行いました。

3月21日に開館した市立図書館のある多賀城駅北再開発ビルA棟の来館者数は、25日現在で98万3,966名となり、今月中には100万人を超える見込みとなりました。

前回定例会以降に実施された主な社会教育事業等は別表のとおりです。

■文化財課関係

10月1日、埋蔵文化財調査センター展示室において、第27回企画展「多賀城跡の保存と研究—150年の軌跡—」が開催され、開会式に教育長、文化財課長等が出席いたしました。この企画展は、多賀城跡附寺跡特別史跡指定50周年記念事業として企画したもので、展示期間は12月18日までとなっております。

10月8日、天童市民が本市の史跡めぐりを行い、担当者が八幡地区の天童氏関連の旧跡や特別史跡多賀城跡等を案内しました。参加者は51名でした。

10月15日、食文化体験学習のそばの刈取りが開催され、城南小学校6年生の児童9名、保護者2名が参加しました。

10月19日、中央公民館で「第4回多賀城跡連絡協議会」を開催し、文化財課長等が出席いたしました。10月24日に東京都内で開催される、「第4回多賀城南門建築意匠等検討部会」での議事内容について協議が行われました。

10月24日、東京都の公益財団法人文化財建造物保存技術協会において、「第4回多賀城南門建築意匠等検討部会」が開催され、文化財課長等が出席いたしました。10月4日に開催された「文化庁復元検討委員会」の報告や、築地塀の復元範囲、復元建物の耐震補強の方法等について検討が行われました。同日、食文化体験学習として城南小学校5年生133名が参加し、古代米の刈取りを行いました。

(別表) 社会教育事業等の開催状況

開催日	内 容	参加者数	会 場
9月24日	高齢者教育事業「多賀城大学」「山王大学」「山茶花大学」(前期第4・5回) (庄司恵子のへらへらトーク パート3)	120名	文化センター
9月27日	成人教育事業「介護予防講座」 (介護状態にならない工夫を学ぶ)	11名	大代地区公民館
9月28日	東北学院大学公開講座『IT・インフラ』 が拓く安全・安心な社会(第3回) (声や楽器の可視化)	43名	東北学院大学工学部
9月28日、30日、 10月5日、7日、 19日、21日	大代地区公民館「貯筋運動教室出前講座」 (大代東集会所、笠神会館で健康づくり のための軽運動を行う)	67名	大代東集会所、笠神会館
9月28日、30日、 10月5日、7日、 12日、14日、 19日、21日	地域交流事業「集いの広場」 (体育室、視聴覚室を開放して子ども たちの学習や異世代交流を行う)	49名	大代地区公民館
10月2日	山王地区公民館まつり (ステージや作品展示で活動の成果を 発表)	341名	山王地区公民館
10月2日	大代地区公民館まつり (ステージや作品展示で活動の成果を 発表)	330名	大代地区公民館
10月5日	東北学院大学公開講座『IT・インフラ』 が拓く安全・安心な社会(第4回) (2016年版電話がつながるしくみ)	45名	東北学院大学工学部
10月12日	東北学院大学公開講座『IT・インフラ』 が拓く安全・安心な社会(第5回) (使いやすいものを作る)	46名	東北学院大学工学部
10月14日	成人教育事業「ワインセミナー」(第1 回) (歴史や醸造方法を学ぶ)	23名	中央公民館
10月19日	高齢者教育事業「山茶花大学」(後期第 1回) (仙台弁の民謡語り朗読を楽しむ)	15名	中央公民館
10月22日	成人教育事業「女性の美活講座」(第2 回) (リンパケアでむくみ解消)	13名	中央公民館
10月23日	サイエンスデイ in 多賀城 (市内企業の科学技術を子どもたちが学 ぶ)	87名	中央公民館

平成28年10月26日提出

多賀城市教育委員会
教育長 小畑 幸彦

議案第 28 号

山王地区公民館及び大代地区公民館における冷暖房使用料
の設定について

このことについて、次のとおり方向性を定めるものとする。

平成 28 年 10 月 26 日提出

多賀城市教育委員会

教育長 小畑 幸彦

山王地区公民館及び大代地区公民館における冷暖房使用料 設定の方向性

1 現状

中央公民館、山王地区公民館及び大代地区公民館で、冷房機の整備状況及び冷暖房使用料加算の有無に差異が生じている。

施設名	冷房機	暖房機	使用料加算の有無
中央公民館	全室完備	全室完備	冷暖房とも加算あり
山王地区公民館	一部完備	全室完備 (体育館除く。)	冷暖房とも加算なし
大代地区公民館	一部完備	全室完備 (体育室除く。)	冷暖房とも加算なし

2 目的

山王地区公民館及び大代地区公民館の各室使用料に冷暖房使用料加算を行うことにより、各公民館及び各室使用に係る利用者負担の公平性を確保する。

3 冷暖房使用料の額

中央公民館で設定している各室の冷暖房使用料の額を基準として、山王地区公民館及び大代地区公民館の各室の面積等を勘案して設定する。ただし、全庁的な公の施設の使用料の見直しが行われる場合は、この限りでない。

4 冷暖房使用料加算の実施時期

冷暖房機の整備状況等を勘案して決定する。

山王地区公民館及び大代地区公民館冷暖房関係資料

1 各室使用料等の仕組み

(1) 各室使用料 → 多賀城市公民館条例で規定

使用区分		使用時間		午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
		午前 9 時 ～正午	午後 1 時 ～午後 5 時	午後 6 時 ～午後 9 時 30 分	午前 9 時 ～午後 5 時	午後 1 時 ～午後 9 時 30 分	午前 9 時 ～午後 9 時 30 分		
中央 公 民 館	第 1 会議室	700 円	950 円	1,200 円	1,650 円	2,150 円	2,850 円		
	第 2 会議室	700 円	950 円	1,200 円	1,650 円	2,150 円	2,850 円		
	第 3 会議室	700 円	950 円	1,200 円	1,650 円	2,150 円	2,850 円		
	第 4 会議室	1,300 円	1,900 円	2,900 円	3,200 円	4,800 円	6,100 円		
	第 5 会議室	600 円	700 円	950 円	1,300 円	1,650 円	2,250 円		
	(略)								
	会議室	700 円	950 円	1,400 円	1,650 円	2,350 円	3,050 円		

備考 (抜粋)

5 中央公民館の各室を使用する場合で冷暖房機を使用するときの各室使用料は、第 1 号の表及び備考 4 に定める使用料の額に、冷房又は暖房をするときごとに 1 時間につき 700 円以内 で市長が定める額をそれぞれ加算した額とする。(以下略)

(2) 冷暖房使用料 → 上記条例の委任を受けて多賀城市公民館管理規則で規定

区分		冷房使用料 (1 時間あたり)	暖房使用料 (1 時間あたり)
中央 公 民 館	第 1 会議室	150 円	150 円
	第 2 会議室	150 円	150 円
	第 3 会議室	150 円	150 円
	第 4 会議室	300 円	300 円
	第 5 会議室	150 円	150 円
	(略)		
会議室	300 円	300 円	

(3) 各室使用料等の計算例

中央公民館の第 1 会議室を、
①午前 9 時から正午までの 3 時間使用し、
②その間冷房を使用する。



① 700 円
② 150 円 × 3 = 450 円
① + ② = 1,150 円

2 中央公民館の施設（各室）概要

区分	面積	定員	冷房使用料 (1時間当たり)	暖房使用料 (1時間当たり)
第1会議室	56.1㎡	24人	150円	150円
第2会議室	53.4㎡	30人	150円	150円
第3会議室	53.4㎡	39人	150円	150円
第4会議室	106.7㎡	75人	300円	300円
第5会議室	44.0㎡	18人	150円	150円
第1和室	28畳	—	150円	150円
第2和室	20畳	—	150円	150円
第3和室	16畳	—	150円	150円
茶室	6畳・3畳	—	150円	150円
料理実習室	77.4㎡	36人	300円	300円
創作室	174.7㎡	32人	350円	700円
児童創作室	28.8㎡	12人	150円	200円
会議室	65.6㎡	20人	300円	300円

3 中央公民館の冷暖房使用料設定根拠及び基準

平成17年9月に行政改革推進本部幹事会「行政コスト」専門部会で示された「公の施設の使用料の適正化について」で示された考え方を基本にしている。

現在の中央公民館の冷暖房使用料は、平成18年度の社会教育施設の使用料改定に合わせて冷暖房使用料を再設定したもの。

(使用料設定規準)

- ・ 和室 冷房・暖房とも 150円
- ・ 20㎡未満の施設 冷房・暖房とも 100円
- ・ 50㎡（概ね40人）未満の施設 冷房・暖房とも 150円
- ・ 50㎡（概ね40人）以上の施設 冷房・暖房とも 300円
- ・ 冷暖房機器が複数の場合 冷房・暖房とも 300円
- ・ 創作室100㎡未満 冷房 150円 ・ 暖房 200円
- ・ 創作室100㎡以上 冷房 350円 ・ 暖房 700円

※ 創作室の暖房使用料：100㎡以下は冷房使用料の1.5倍（50円未満切り捨て）。

100㎡以上は冷房使用料の2倍。

4 各地区公民館の施設（各室）概要

(1) 山王地区公民館

区分	面積	定員	冷房機	暖房機
体育館（プレイルーム）	16.0 m ²	—	×	○
第1児童室兼創作室	42.2 m ²	24人	×	○
第2児童室兼創作室	28.1 m ²	12人	×	○
第1和室	21畳	—	×	○
第2和室	12畳	—	○	○
第3和室	18畳	—	○	○
調理講座室	73.1 m ²	36人	○	○
第1会議室	28.1 m ²	40人	×	○
第2会議室	28.1 m ²	40人	×	○
第3会議室	28.1 m ²	40人	×	○
講座室	42.2 m ²	25人	×	○
視聴覚室	73.1 m ²	50人	×	○

(2) 大代地区公民館

区分	面積	定員	冷房機	暖房機
第1和室	15畳	—	○	○
第2和室	15畳	—	○	○
第3和室	10畳	—	○	○
調理室	35.0 m ²	16人	×	○
第1会議室	67.0 m ²	36人	○	○
第2会議室	38.3 m ²	30人	○	○
視聴覚室	38.0 m ²	24人	○	○

報告第 2 号

多賀城市立図書館の運営状況等について

このことについて、多賀城市立図書館本館の移転開館から平成 28 年 9 月末日までの運営状況及び利用者アンケート調査の結果を次のとおり報告する。

平成 28 年 10 月 26 日提出

多賀城市教育委員会

教育長 小畑 幸彦

多賀城市立図書館本館の運営状況等

(移転開館から平成28年9月末日まで)

1 利用統計

(1) 多賀城駅北ビルA棟入館者数	890,257人
(2) 図書館資料貸出冊数	468,468冊
(3) 図書館利用者数	135,216人
(4) 新規登録者数	26,718人

2 事業実施状況

(1) 読み聞かせ会	実施回数47回、参加者数1,488人
(2) 図書紹介コーナー	2か月に1度テーマを決め、図書の展示を実施
(3) 展示コーナー	市民等の発表の場の提供

3 講座・ワークショップ実施状況

実施回数58回、参加者数943人

4 利用者の意見及び対応状況等

寄せられた意見等22件、うち対応件数22件

5 利用者アンケート調査の結果

別冊資料のとおり

報告第2号関係資料

○多賀城市立図書館運営状況（平成28年3月21日～同年9月30日）

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 (3月から)	合計 (4月から)
本館	多賀城駅北ビルA棟入館者数	77,228	144,669	134,953	132,972	133,976	139,827	126,632	890,257	813,029
	うち9時～21時半 入館者数	75,235	130,686	127,132	128,418	128,695	131,720	121,358	843,244	768,009
	図書館資料貸出冊数	36,187	79,873	78,347	67,659	73,239	69,721	63,442	468,468	432,281
	図書利用者数	9,922	23,364	22,707	19,798	21,186	19,991	18,248	135,216	125,294
	新規登録者数	7,155	6,631	4,281	2,379	2,466	2,307	1,499	26,718	19,563
山王	図書館資料貸出冊数	521	2,194	2,053	2,388	2,458	1,979	2,008	13,601	13,080
	図書利用者数	119	541	530	592	615	515	491	3,403	3,284
	新規登録者数	6	10	5	3	10	3	2	39	33
大代	図書館資料貸出冊数	770	1,849	1,721	1,709	1,910	1,750	1,631	11,340	10,570
	図書利用者数	162	438	429	443	485	413	381	2,751	2,589
	新規登録者数	4	6	6	2	3	1	5	27	23
B M	図書館資料貸出冊数	0	1,759	1,932	2,471	2,345	1,924	2,216	12,647	12,647
	図書利用者数	0	228	344	373	388	230	306	1,869	1,869
	新規登録者数	0	1	0	5	1	1	1	9	9
全館合計	図書館資料貸出冊数	37,478	85,675	84,053	74,227	79,952	75,374	69,297	506,056	468,578
	図書利用者数	10,203	24,571	24,010	21,206	22,674	21,149	19,426	143,239	133,036
	新規登録者数	7,165	6,648	4,292	2,389	2,480	2,312	1,507	26,793	19,628
	予約図書数 窓口	719	1,833	1,566	1,565	1,704	1,358	1,405	10,150	9,431
	予約図書数館内利用開放端末	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予約図書数インターネット	638	2,032	2,093	2,106	2,077	1,797	1,863	12,606	11,968
	予約図書数BM	0	10	15	9	15	38	6	93	93
	団体貸出件数	12	52	71	66	45	54	64	364	352
	団貸出冊数	75	1,272	1,145	1,542	1,203	1,444	1,549	8,230	8,155
	相互貸借 貸出	23	77	104	128	99	93	100	624	601
	相互貸借 借受	52	172	179	212	176	143	246	1,180	1,128
	レファレンス 窓口	13	6	12	701	694	502	421	2,349	2,336
	レファレンス 電話	-	0	0	0	0	0	0	0	0
	レファレンス その他	-	0	0	0	0	0	0	0	0
	複写機申請件数	28	84	91	90	94	75	75	537	509
	複写機使用枚数	80	427	557	630	511	473	570	3,248	3,168
宅配返却	9	31	19	12	27	15	16	129	120	
学校図書館貸出	多賀城小学校	512	1,118	3,086	3,072	1,080	276	3,307	12,451	11,939
	多賀城東小学校	1	2,721	3,779	5,654	2,715	385	3,701	18,956	18,955
	山王小学校	951	3,516	4,913	7,380	3,509	499	6,492	27,260	26,309
	天真小学校	443	612	2,548	3,410	2,109	341	2,554	12,017	11,574
	城南小学校	0	8	3,195	4,175	1,829	79	3,569	12,855	12,855
	多賀城八幡小学校	453	1,284	3,038	4,155	1,666	387	3,167	14,150	13,697
	多賀城中学校	-	33	171	196	130	3	99	632	632
	第二中学校	-	34	121	92	111	7	261	626	626
	東豊中学校	-	48	220	198	99	6	113	684	684
	高崎中学校	-	0	137	209	238	33	195	812	812
	学校図書館合計	2,360	9,374	21,208	28,541	13,486	2,016	23,458	100,443	98,083

○事業実施状況（平成28年3月21日～同年9月30日）

事業名	対象	回数	参加者数	内容
定例読み聞かせ会（本館）	幼児～小学生	16	456	図書館ボランティア「よつばのクローバー」と「スキップ♪」によるお話、絵本、紙芝居等の読み聞かせ会
定例読み聞かせ会	幼児～小学生	31	1032	図書館スタッフによるお話。絵本、紙芝居等の読み聞かせ会
定例読み聞かせ会（大代分室）	幼児～小学生	12	131	図書館ボランティア「カンガルー読書会」によるお話、絵本、紙芝居等の読み聞かせ会
定例読み聞かせ会（山王分室）	幼児～小学生	6	26	図書館ボランティア「スキップ♪」によるお話、絵本、紙芝居等の読み聞かせ会
出前おはなし会	幼児と保護者	11	234	絵本と紙芝居の読み聞かせ、図書の紹介 ※子育てサポートセンター、健康課と共催
移動おはなし会	小学生	4	414	図書の紹介、読み聞かせを行います。 （会場は市内各小学校）
図書紹介コーナーの設置	-	-	-	4・5月 「始まり」 「芽吹きの中」 「多賀城、宮城探訪」 「ともだち100人できるかな」 6・7月 「思いをしたためる」 「ミステリーワールド」 「極小の素粒子の世界から宇宙へ」 「どきどき！そわそわ！わくわく！」 8・9月 「セルフケア」 「やさしいエコライフのすすめ」 「探そう、とっておきの一冊」 「ふしぎがいっぱい」 10・11月（予定） 「食べる、育てる」 「アートの世界」 「幕末と志士たち」 「たべもの」 ※2か月に1度テーマを決め、図書の展示を行います。
展示コーナーの活用	-	-	-	4月「多賀城の風景写真」 5月「アメリカの写真展」 6月「静止画のちぎり絵」 7月「油絵展示」 8月「水墨画子ども絵展示」 9月「パステル画」 10月「風景画・祭り、人のポートレート展」 11月「全国各地の風景画写真」（予定） 12月「パステル画の写真展示」（予定） 1月「水墨画作品展示」（予定） 2月「パッチワークタペストリー展示」（予定） 3月「書道作品展示」（予定）

○講座、ワークショップ、講演会等（平成28年3月21日～同年9月30日）

No.	名称	日時	参加者数	材料費	内容等
1	タイルを使って世界にひとつだけの、モザイクタイルフォトフレームを作ろう	3/26	32	¥3,000	様々な形、色、素材のタイルを使い大好きな本をイメージして、フォトフレームが作れるワークショップ
2	自由な発想で好きな色のタイルをみんなで貼ろう！	3/27	87	無料	色々な形、色のタイルを貼ってモニュメントを作ろう！みんなで作った作品は図書館に飾ります。
3	飛び出すメッセージカードを作ろう！	3/27	25	¥300	好きな顔を作り、飛び出す台紙に貼ってメッセージを書いて完成！お父さん、お母さん、大好きなあの人にプレゼントしよう！
4	iPad講座	4/11	7	無料	図書館内をよりご利用しやすいように検索機の使い方をレクチャー。①本の検索②検索機レシートの見方③HPの使い方
5	春のフラワーアレンジメント講座	4/16	6	¥3,000	春の新生活にぴったりなアレンジメント講座 家の中で手軽に鑑賞できるミニブーケを作成
6	iPad講座	4/18	3	無料	図書館内をよりご利用しやすいように検索機の使い方をレクチャー。①本の検索②検索機レシートの見方③HPの使い方
7	iPad講座	4/25	5	無料	図書館内をよりご利用しやすいように検索機の使い方をレクチャー。①本の検索②検索機レシートの見方③HPの使い方
8	昭和の日「昔遊びをしよう」	4/29	66	無料	昭和の日に因んでお父さん・お母さんが昔遊んでいた玩具を使って昔遊びに親しむ（けん玉、メンコ、お手玉）
9	iPad講座	5/2	2	無料	図書館検索機の使い方レクチャー ①貸出しについて②検索③マイページ
10	こいのぼりオーナメントを作ろう	5/4	40	無料	こどもの日にちなんだ、こいのぼりと兜のオーナメントを作成。親子で参加
11	こいのぼりオーナメントを作ろう	5/5	30	無料	こどもの日にちなんだ、こいのぼりと兜のオーナメントを作成。親子で参加
12	Good Morning YOGA	5/6	11	¥500	朝の誰もいない空間で、太陽の光を浴びながらライフスタイルの中に取り込む1つのきっかけにヨガを開催
13	iPad講座	5/9	1	無料	図書館検索機の使い方レクチャー ①貸出しについて②検索③マイページ
14	Coppa彫刻端材でブローチ作り	5/14	31	¥500	地元出身の彫刻家 佐野美里さんによるブローチ作りのワークショップ
15	iPad講座	5/16	3	無料	図書館検索機の使い方レクチャー ①貸出しについて②検索③マイページ
16	Good Morning YOGA	5/20	10	¥500	朝の誰もいない空間で、太陽の光を浴びながらライフスタイルの中に取り込む1つのきっかけにヨガを開催
17	フラワーアレンジメント講座「テラリウム編」	5/21	10	¥3,000	今、若い女性を中心に流行っている「テラリウム」作りを実施。手入れの仕方などもレクチャー
18	iPad講座	5/30	3	無料	図書館検索機の使い方レクチャー ①貸出しについて②検索③マイページ
19	Good Morning YOGA	6/3	13	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施

No.	名称	日 時	参加者数	材料費	内容等
20	iPad講座	6/13	2	無料	iPadを使用した図書館の資料検索・マイページの使い方について図書館スタッフよりレクチャー
21	Good Morning YOGA	6/17	11	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
22	フラワーアレンジメント講座 「ハンギングテラリウム編」	6/18	12	¥3,500	日々の生活を彩る。をコンセプトに今回は流行の「テラリウム」中級編を開催
23	大人のビジネス読書会	6/22	5	¥900	「読んでつながる力に変える」をテーマに、ビジネスマンのコミュニティの場として開催多くの繋がりを発生させる
24	iPad講座	6/23	3	無料	iPadを使用した図書館の資料検索・マイページの使い方について図書館スタッフよりレクチャー
25	フィッシャーマンジャパン講演会	6/24	18	無料	「日本の水産業をカッコよく」をコンセプトに集まった若手漁師集団の、新しい水産業のあり方について講演
26	Good Morning YOGA	7/1	10	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
27	English School	7/5	8	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
28	映画「生まれる」上映会①	7/8	24	無料	地域コミュニティ課の事業、男女共同参画を考える映画「生まれる」の上映会
29	映画「生まれる」上映会②	7/9	39	無料	地域コミュニティ課の事業、男女共同参画を考える映画「生まれる」の上映会
30	iPad講座	7/11	1	無料	iPadを使用した図書館の資料検索・マイページの使い方について図書館スタッフよりレクチャー
31	English School	7/12	7	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座
32	Good Morning YOGA	7/15	7	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
33	作家 羽田圭介氏 講演	7/16	57	無料	今までの作家の概念を打ち破る羽田氏の講演会を開催
34	初めての 英語多読～キッズ～	7/17	27	無料	多読を始めるにあたってのガイダンス 英語学習への導入。多読書籍の活用方法の紹介
35	English School	7/19	7	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座
36	English School	7/26	5	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座
37	初めての 英語多読～一般～	7/28	27	無料	多読を始めるにあたってのガイダンス 自分に合った多読図書を選び方の紹介
38	多賀城市立図書館English School	8/2	6	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催

No.	名称	日 時	参加者数	材料費	内容等
39	GoodMorningYOGA	8/5	7	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
40	全国モザイクタイルキャラバン	8/7	34	¥500	モザイクタイルアーティスト中村ジュンコ氏によるモザイクタイルをつかったワークショップ1時間ごとの計4回開催
41	iPad講座	8/8	1	無料	Padでの本の検索方法やマイページの使い方のレクチャーを実施
42	多賀城市立図書館English School	8/9	5	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
43	森のようちえん虹の森 草木染のワークショップ	8/14	15	¥500	自然体験の一環としてたまねぎより染料を抽出し てぬぐいを染めるワークショップ 1時間ごとの計3回開催
44	GoodMorningYOGA	8/19	7	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
45	初めての 英語多読 ～キッズ～	8/19	15	¥500	多読を始めるにあたっての説明と実際の多読体験を実施
46	フラワーアレンジメント教室 「フラワーボックス」	8/20	2	¥3,500	市民より要望の多いフラワー教室 今回は夏らしいひまわりをつかったフラワーボックスを作成
47	羊毛フェルト ちくちく型抜きのワークショップ	8/23	12	¥500	人気の高い羊毛フェルト 夏らしい色のフェルトをつかいかいオーナメントを作成。羊毛糸をつかいてペンダントなどにアレンジ
48	多賀城市立図書館English School	8/23	講師病欠 により中止	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
49	多賀城市立図書館English School	8/30	台風により 中止	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
50	GoodMorningYOGA	9/2	8	500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
51	多賀城市立図書館English School	9/6	4	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
52	iPad講座	9/12	2	無料	iPadでの本の検索方法やマイページの使い方のレクチャーを実施
53	みみサポ 図書館ツアー	9/13	32	無料	耳にハンディキャップを持った人たちに対する図書館の利用案内
54	多賀城市立図書館English School	9/13	6	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
55	GoodMorningYOGA	9/16	8	¥500	朝活の一環として、開館前の図書館でヨガを実施
56	TOHOKUぐるり。 宮城・鳴子温泉郷を語る	9/19	75	無料	NHK仙台放送局企画 表現のスペシャリスト R グラーが大沼伸治氏と鳴子温泉郷の魅力について語った
57	多賀城市立図書館English School	9/20	2	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催

No.	名称	日 時	参加者数	材料費	内容等
58	THE CAMP TO LIFE	9/24	30	無料	行楽シーズンに向けて、アウトドアの魅力やハウツーについて講演いただいた
59	iPad講座	9/26	参加者なしにより中止	無料	iPadでの本の検索方法やマイページの使い方のレクチャー予定だったが、参加者なしのため中止
60	多賀城市立図書館English School	9/27	7	¥13,000(全12回)	外国人英語教師による英会話講座 1クール（3ヶ月）毎月第1～4火曜日に開催
61	English Café	9/28	10	無料	英会話を勉強している人たちや、英会話に興味を持っている人たちが集い、英語力をアウトプットする場として実施。英会話を行った
合計		58回	943	※中止の回を除く	

○利用者の意見及び対応等（平成28年3月21日～同年9月30日）

	意見等	対応等	備考
1	3階の学習スペースでのおしゃべりや、1階キッズライブラリーの騒ぎ声について他の利用者からご意見	座席サインの設置、館内放送でのマナー注意喚起を定期的に行うと同時に、巡回時に声かけによる指導を実施。館内のBGMボリュームのコントロール、子どもの家のおままごとセットを一時的に撤去	3月
2	駐車券の2時間無料になるための運用ルール・告知がわかりづらい	スタッフのご案内方法を統一、各所に駐車券に関する案内サインを設置	3月
3	喫煙所の場所が換気の吸気口に近く、館内に匂いが入ってきてしまっていた	喫煙所の位置を南側中央部へ移動、弁当スペースと入替えを行う。	4月
4	ゴミ箱が席の周囲に見当たらない	ゴミ箱は各階の階段付近に設置しており、これ以上増やさない。	4月
5	消しゴムのカスが学習室等に残っている。	清掃、運営チェックで消しカス取りを実施。	4月
6	返却ボックスの開館時間中の利用可否について	開館時間中は、館内返却ボックスまでお持ちいただく。サインを追加する。	5月
7	駐輪場の場所について、分かりづらい、料金体系が2種類あり、間違えた	駐輪禁止サインに、駐輪場の案内のサインを追加予定	5月
8	開館時間中に返却ボックスの開設を要求	開設せず、館内の返却ボックスを利用いただく運用とする。館内の安全の確保と、返却処理を速やかに行うため。	6月
9	iPadの利用の際に利用制限がかかっており、見たい内容を閲覧できない。	公共図書館としてふさわしくないものの閲覧を防ぐため、最低限の機能制限は引き続き行う。機能制限はkeywordでフィルタがかかっているため、アダルトサイトではなくても引っかかってしまうものがあるが、Apple社の設定のため、図書館側では修正できない。	6月
10	荷物放置への注意喚起に対して、お怒りになり、職員が胸ぐらをつかまれる	その場合は、他の利用者の方の制止があり収まったが、後ほど警察に通報し、対応いただく。職員の安全性を考えると、今後、緊急アラーム等で他職員を呼び出せる仕組みが必要。	7月
11	館内撮影の注意喚起に対して、お怒りになり、大声をあげる	館外で対応したが、他の利用者の方が警察に通報される。警察の方にもお任せし、収まってからお帰り頂いた。	7月
12	スタッフへの脅迫文と取れるメモが閉館後みつける。	警察に通報、該当のメモを鑑識に提出。	7月
13	市民展示が、旧館に比べて場所が悪く、展示可能数も少ないため、利用できない	現在の場所で、最大限が活用いただけるようにしたい旨をお伝えする	7月
14	「こどもの家」はないほうがいいのではないのか	課題認識はしており、小中学生の学習の場の必要性も感じるので、検討課題としたい。しかし、これを目当てに来られている方がいることも想定されるので、「遊び」の確保は必要と考えている。	8月
15	ズボンのすそがぼろぼろのスタッフがいて、清潔感がない	担当スタッフを指導し、全体に身だしなみに対する意識を啓発。朝礼の際に他者チェックをするなど対応。	8月
16	落書きがされている資料を返却時に指摘したが、処理されずに棚に戻っていた	落書きされている資料があった場合の対応方法を、再度スタッフに周知。	8月
17	レファレンスができる人が少ない	ご意見についてスタッフ周知。難しいレファレンスは、先輩スタッフによるサポート体制を取る。レファレンス研修会を定期的開催、スキルアップにも努める。	8月
18	荷物放置の席札に関して、短時間離席していた場合にも置かれて不愉快	同様のご意見をいただくことが多く、全体的に見直し。9月よりスタンス・ルールを変更し実施。	8月
19	PC優先席をPC利用以外の方が使っている	あくまでも優先席なので、専用席にはしない。満席時は、譲っていただくようにお声掛けするルールをスタッフに周知。	8月
20	広報誌に整理券配布日について記載してほしい	複数の方よりご意見いただいた。広報誌に配布開始日を載せる方向で検討したい。	9月
21	障がい者トイレにジェットタオルを設置してほしい	設置は見送り。	9月

	意見等	対応等	備考
22	上下巻セット予約はできないのか？他の図書館はやっている。	システム上、上巻の優先貸出しは可能。予約受付の際に確認し、上巻が先に来るように対応する。 上下巻セットでの貸出しは行わない。	9月

報告第3号

平成28年度多賀城市立小・中学校「安心して過ごせる学校を目指して」調査結果の分析（多賀城市全体）についてこのことについて、次のとおり報告する。

平成28年10月26日提出

多賀城市教育委員会

教育長 小畑 幸彦

平成28年度多賀城市立小・中学校「安心して過ごせる学校を目指して」 調査結果の分析（多賀城市全体）

①嫌なことをした側・された側の比較から

（小学校）

	した側	された側	した側とされた側の意識の差が大きいもの
第1位	Q8	Q6	Q6 嫌がるようなことを何度も言われる
第2位	Q3	Q8	Q4 人とわざと押したり，ぶつかったりする
第3位	Q2	Q3	Q8 人をたたいたり，蹴ったりする

○「された」と答えた児童より「した」と答えた児童の人数が多かったもの

Q2 隣の人と机を離す。

（考察）

した側，された側の意識の差がかなりある。特に「嫌がるようなことを何度も言われる」では、「した側」の意識は低い，「された側」は敏感に感じている傾向が強い。なお，「隣の人と机を離す」は「した側」の意識は強い，「された側」はあまり感じていないようである。なお，小学校の特徴として，Q10の「した側」と「された側」の人数の差が大きく，「した側」には「人が嫌がるような事をしている」という意識はあまりないことが分かる。

（中学校）

	した側	された側	した側とされた側の意識の差が大きいもの
第1位	Q8	Q6	Q6 嫌がるようなことを何度も言われる
第2位	Q3	Q8	Q9 持ち物を隠す
第3位	Q4, 6	Q3	Q4 人をわざと押したり，ぶつかったりする。

○「された」と答えた生徒より「した」と答えた生徒の人数が多かったもの

Q2 隣の人と机を離す。 Q3 無視する Q8 人をたたいたり，蹴ったりする

（考察）

「嫌がるようなことを何度も言われる」では，小学校同様「した側」の意識は低い，「された側」は敏感に感じている傾向が強い。また，中学校では，「された」と答えた生徒より，「した」と答えた生徒の人数が多かったものが，Q2, Q3, Q8と3つある。そして，中学校の特徴として，Q10の「した側」と「された側」人数の差がほとんどなく，「した側」も「嫌なことをしている」という意識をしっかりとっているということが分かる。

②学年別の嫌がらせの態様から

(小学校)

件数の多い上位3

学 年	第1位		第2位		第3位	
	した	された	した	された	した	された
1 学年	Q 6	Q 8	Q 9	Q 3	Q 8	Q 6
2 学年	Q 2	Q 6	Q 3	Q 8	Q 6	Q 3
3 学年	Q 2	Q 8	Q 8	Q 6	Q 3	Q 3
4 学年	Q 8	Q 6	Q 3	Q 8	Q 2	Q 3
5 学年	Q 8	Q 6	Q 3	Q 8	Q 2	Q 4
6 学年	Q 8	Q 8	Q 3	Q 6	Q 2	Q 4

(考察)

「した側」の意識が高いのは、低学年では Q2「隣の人と机を離す」、高学年では Q8「人をたたいたり蹴ったりする」Q3「無視する」である。しかし「された側」の意識が高いのは、Q6「嫌がるようなことを何度も言う」Q8「人をたたいたり蹴ったりする」であった。行動に関しては、どちらも認識が共通しているが、言葉については、「した側」「された側」の認識に大きなずれがある。無意識の言葉が、相手を傷つけていることにあまり気付いてはいないのではないかと推察できる。

(中学校)

件数の多い上位3

学 年	第1位		第2位		第3位	
	した	された	した	された	した	された
1 学年	Q 8	Q 6	Q 3	Q 8	Q 2	Q 4
2 学年	Q 8	Q 6	Q 3	Q 3	Q 4	Q 8
3 学年	Q 8	Q 6	Q 3	Q 8	Q 4	Q 3

(考察)

中学校でも「した側」の意識が高いのは、小学校高学年同様 Q8「人をたたいたり蹴ったりする」Q3「無視する」であり、「された側」の意識が高いのは、Q6「嫌がるようなことを何度も言う」Q8「人をたたいたり蹴ったりする」であった。やはり小学校同様に、行動に関しては、どちらも認識が共通しているが、言葉については、「した側」「された側」の認識に大きなずれがある。無意識の言葉が、相手を傷つけていることにあまり気付いてはいないのではないかと推察できる。

③男女別の嫌がらせの態様から

(小学校)

件数の多い上位3

学 年	第1位		第2位		第3位	
	した	された	した	された	した	された
男 子	Q 8	Q 8	Q 3	Q 6	Q 6	Q 4
女 子	Q 8	Q 6	Q 2	Q 3	Q 3	Q 8

(考察)

「した側」の意識が高いのは、男女とも Q8「人をたたいたり、蹴ったりする」である。ただし、「された側」の意識では、男子は Q8で「した側」と同様であったが、女子は、Q6「嫌がるようなことを何度も言う」、Q3「無視する」が上位であった。また、嫌なことをされた人数は、ほとんどの設問で男子の方が多く、Q3「無視する」と Q7「嫌がるようなことを、ネットの掲示板などにかいたり、メールで送ったりする」は女子の方が多く、女子では、態度を表面化しない嫌がらせが多い傾向が見て取れる。

(中学校)

件数の多い上位3

学 年	第1位		第2位		第3位	
	した	された	した	された	した	された
男 子	Q 8	Q 6	Q 3	Q 8	Q 4	Q 4
女 子	Q 3	Q 3	Q 8	Q 6	Q 6	Q 8

(考察)

「した側」の意識が高いのは、男子は Q8「人をたたいたり、蹴ったりする」で、女子は Q3「無視する」であった。また、「された側」の意識では、男子は Q6「嫌がるようなことを何度も言う」で、女子は Q3「無視する」が一番多かった。また、嫌なことをされた人数は、ほとんどの設問で男子の方が多く、Q3「無視する」と Q2「隣の人と机を離す」は女子の方が多く、男子は、「直接的な言動」での嫌がらせが多いのに対し、女子は「無視する」という形の嫌がらせをする傾向が高い傾向がある。

④設問別の嫌がらせの態様から

(小学校 した)

設 問	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
Q 1	6年	3年	5年	4年	2年	1年
Q 2	4年	5年	3年	6年	2年	1年
Q 3	5年	6年	4年	3年	2年	1年
Q 4	6年	5年	4年	3年	2年	1年
Q 5	6年	4年	5年	3年	2年	1年
Q 6	4年	5年	6年	3年	2年	1年
Q 7	4年	6年	3年	2年	1年	5年
Q 8	5年	6年	4年	3年	2年	1年
Q 9	6年	5年	4年	3年	2年	1年
Q10	6年	5年	4年	3年	2年	1年

(小学校 された)

設 問	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
Q 1	4年	6年	3年	2年	5年	1年
Q 2	4年	6年	3年	5年	2年	1年
Q 3	4年	3年	6年	5年	2年	1年
Q 4	5年	3年	4年	6年	2年	1年
Q 5	2年	4年	3年	6年	5年	1年
Q 6	4年	3年	2年	5年	6年	1年
Q 7	4年	2年	6年	3年	5年	1年
Q 8	3年	6年	4年	5年	2年	1年
Q 9	3年	6年	4年	5年	2年	1年
Q10	4年	6年	3年	5年	2年	1年

(考察)

低学年は嫌なことを「した」「された」とも少ない。中学年以降で嫌なことを「した」「された」が増えてくるが、総体的に見て、高学年は「した」意識がある児童が多く、逆に「された」意識がある児童が少ないが、中学年は「した」意識がある児童が少なく、逆に「された」意識がある児童が多い。つまり、中学年のうちは、「した」側は、嫌なこととは意識せずに行っているが、「された」側は嫌ことと捉えている可能性が高く、逆に高学年は、「した」側は、嫌なことをしている意識もっているが、「された」側は、それほど嫌なこととは捉えていない可能性がある

(中学校 した)

設 問	第1位	第2位	第3位
Q 1	3年	2年	1年
Q 2	1年	2年	3年
Q 3	2年	3年	1年
Q 4	2年	3年	1年
Q 5	3年	2年	1年
Q 6	2年	3年	1年
Q 7	2年	3年	1年
Q 8	2年	1年	3年
Q 9	2年	1年	3年
Q 10	2年	3年	1年

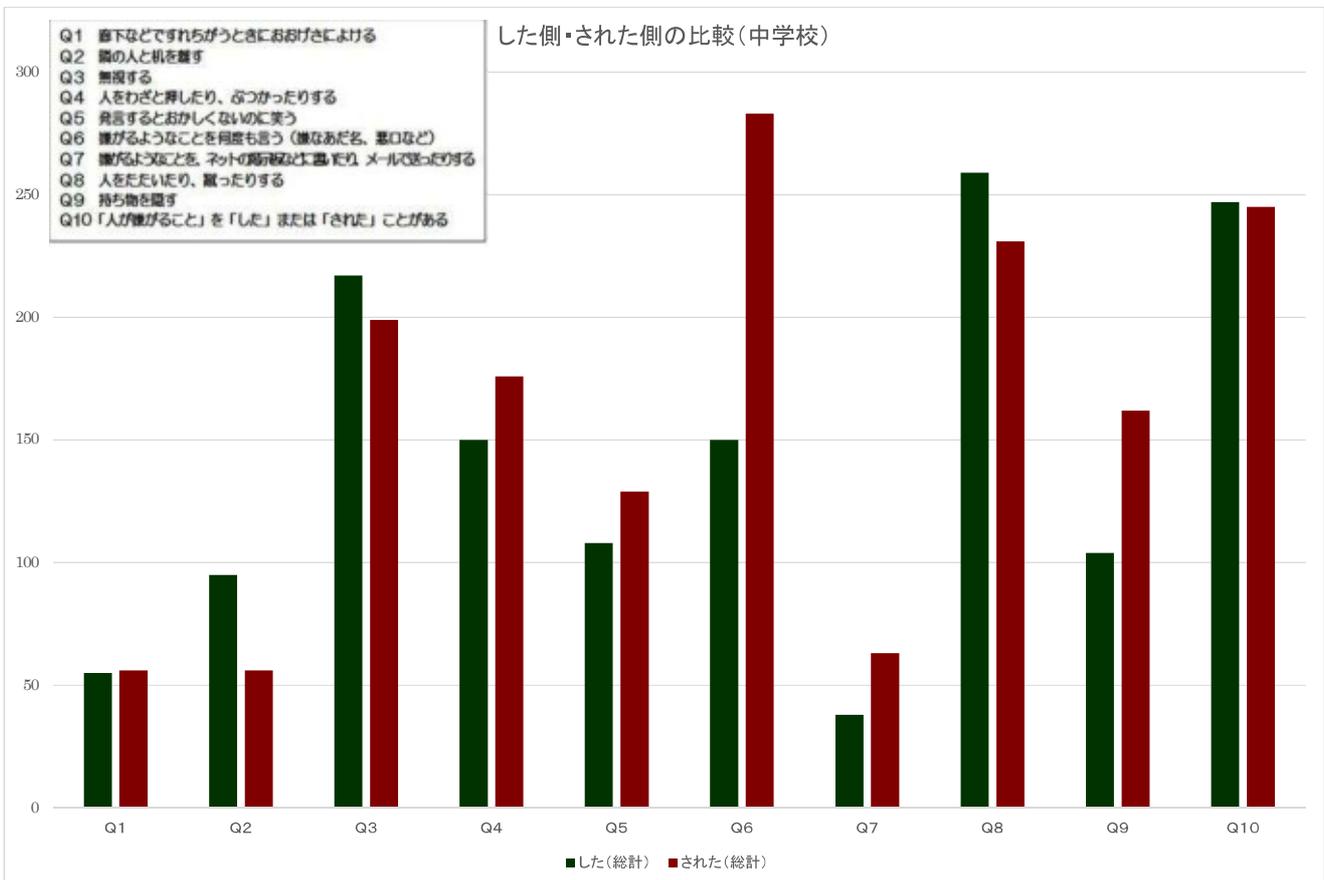
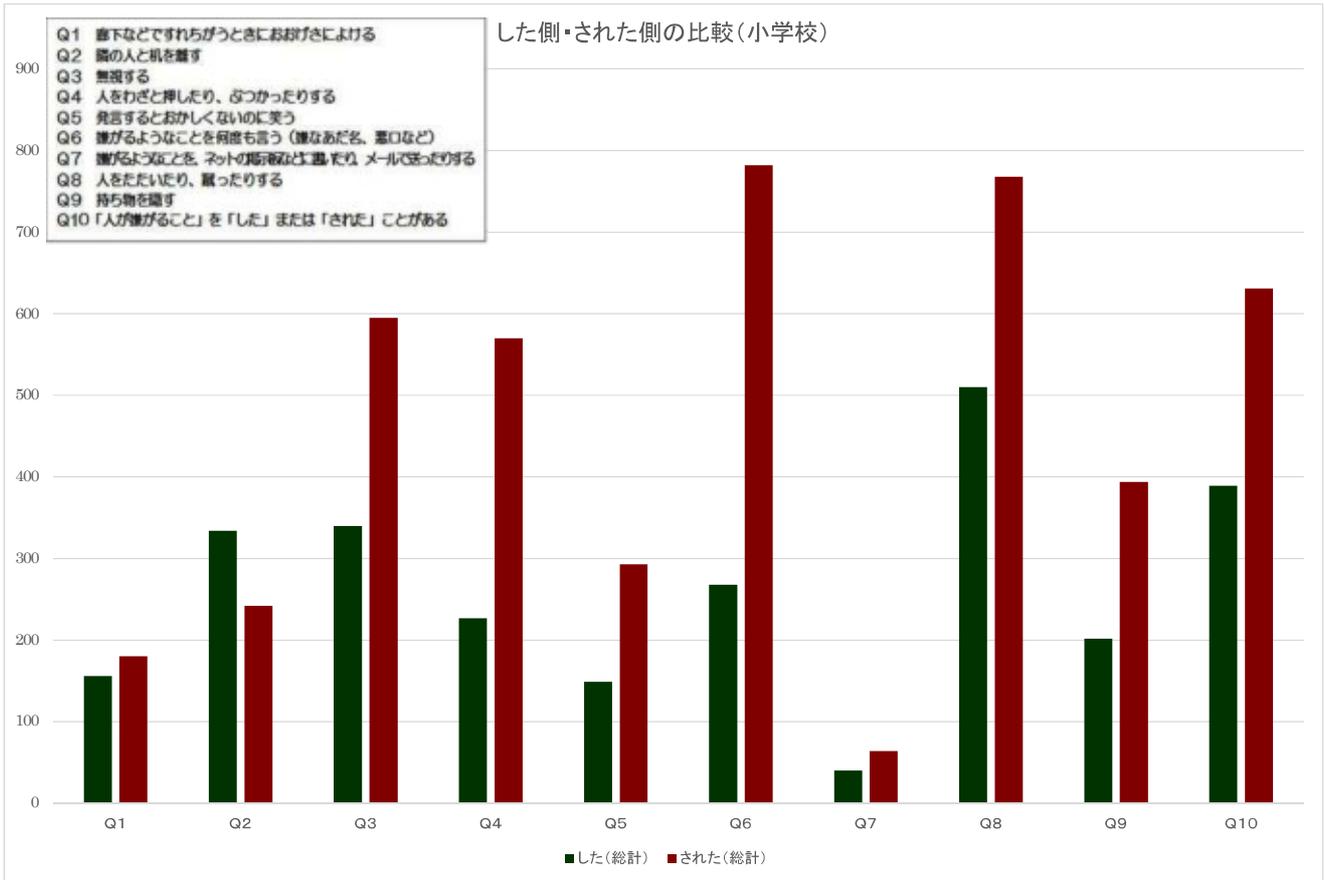
(中学校 された)

設 問	第1位	第2位	第3位
Q 1	3年	2年	1年
Q 2	1年	2年	3年
Q 3	2年	1年	3年
Q 4	1年	2年	3年
Q 5	1年	2年	3年
Q 6	1年	2年	3年
Q 7	2年	1年	3年
Q 8	1年	2年	3年
Q 9	2年	1年	3年
Q 10	1年	2年	3年

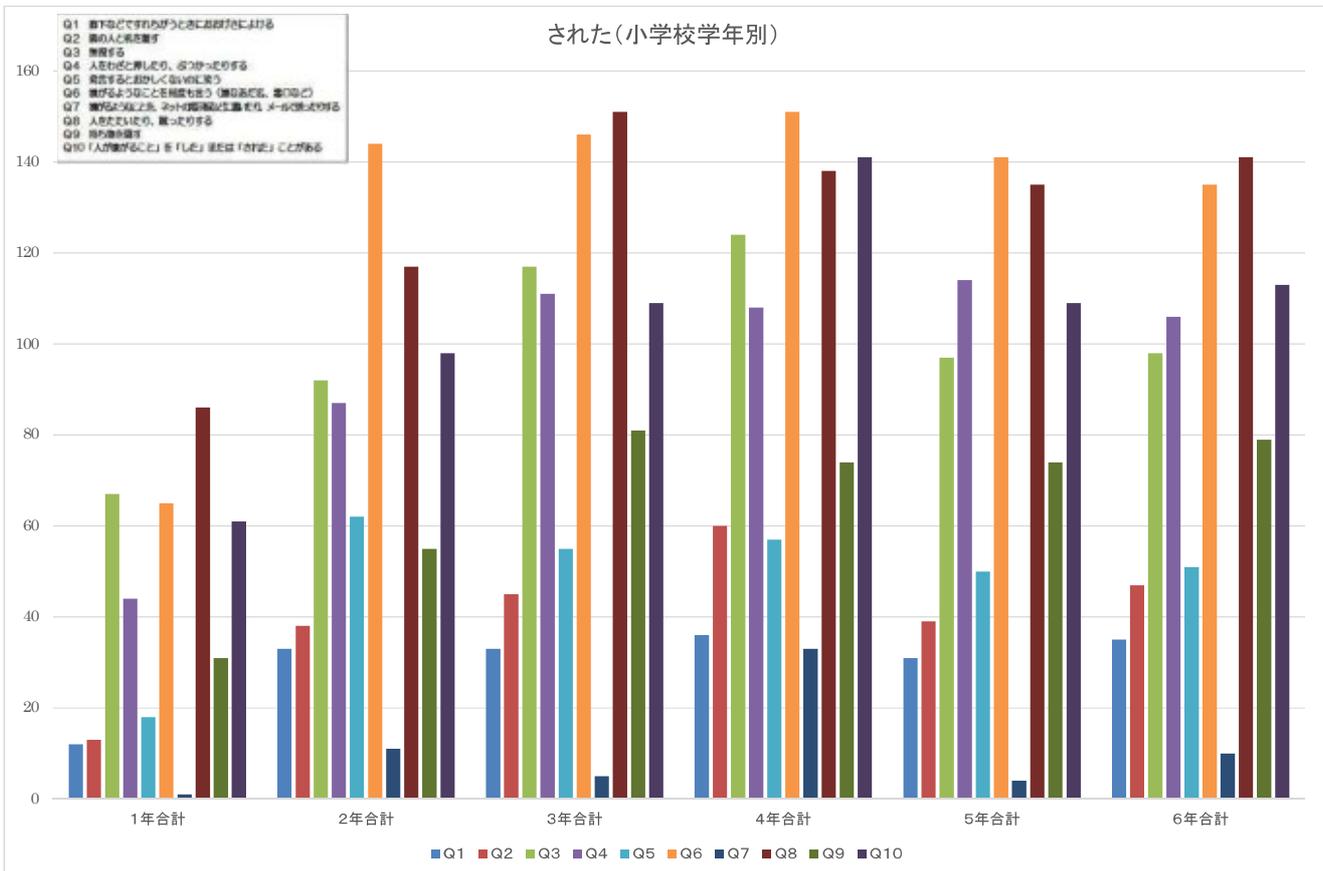
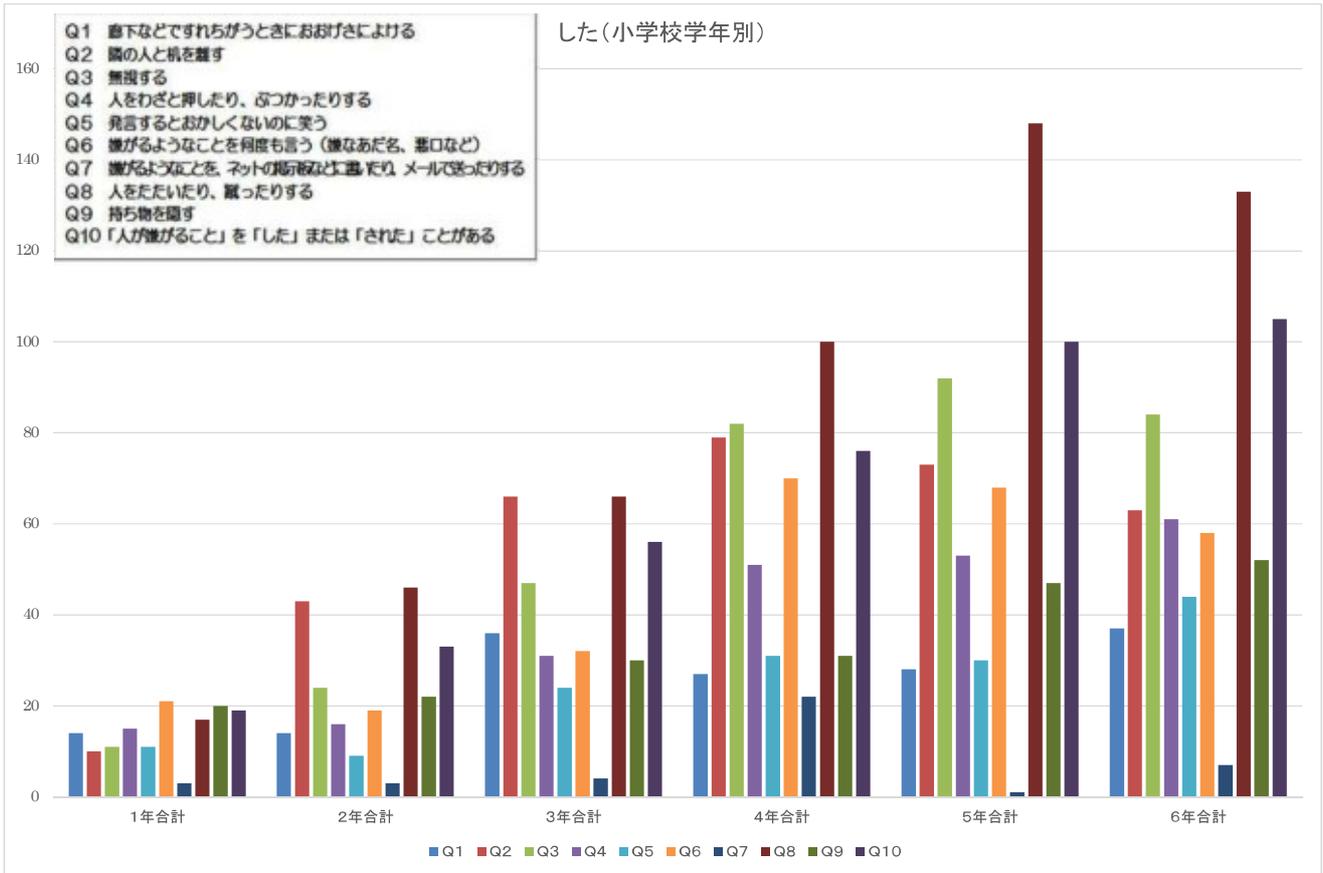
(考察)

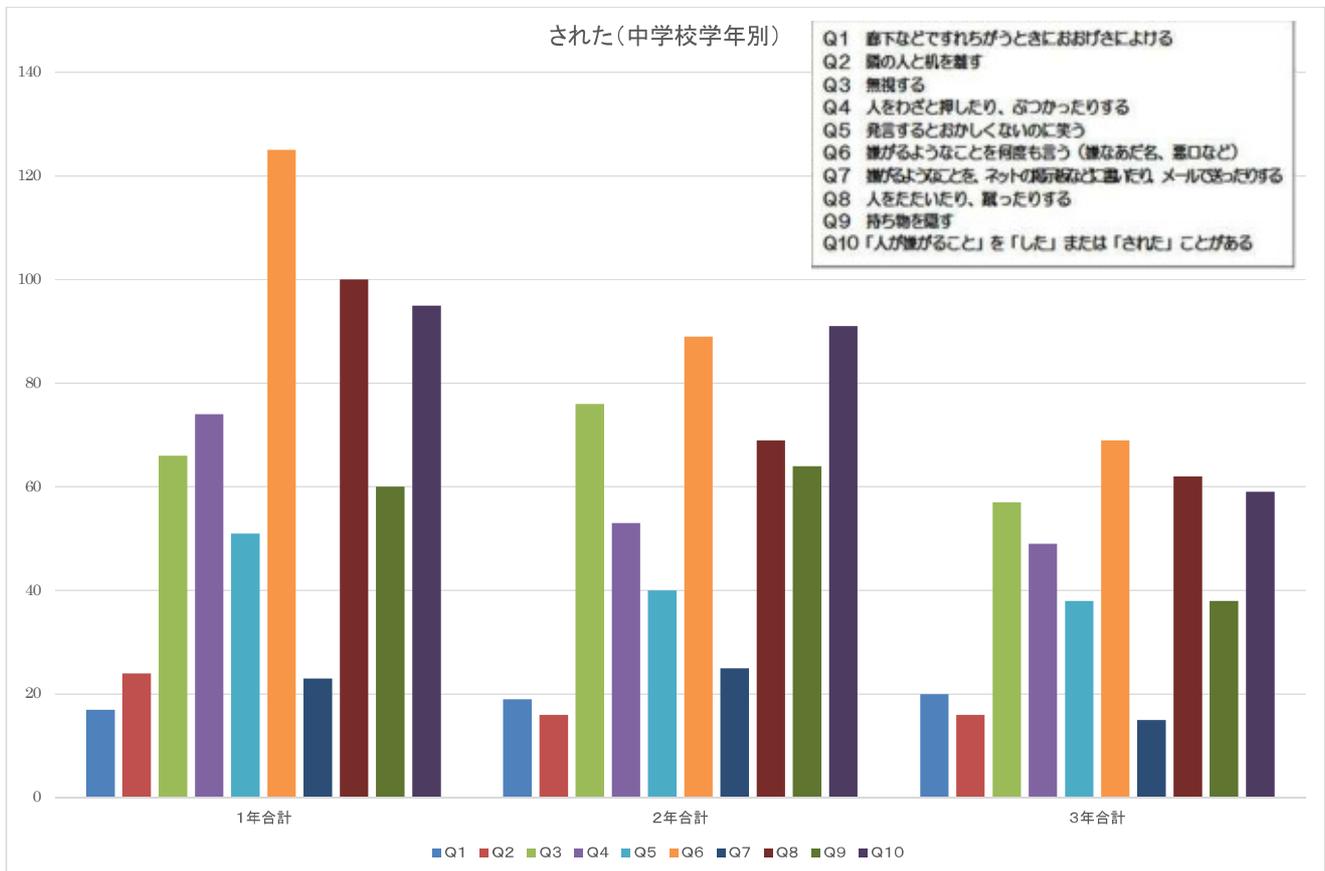
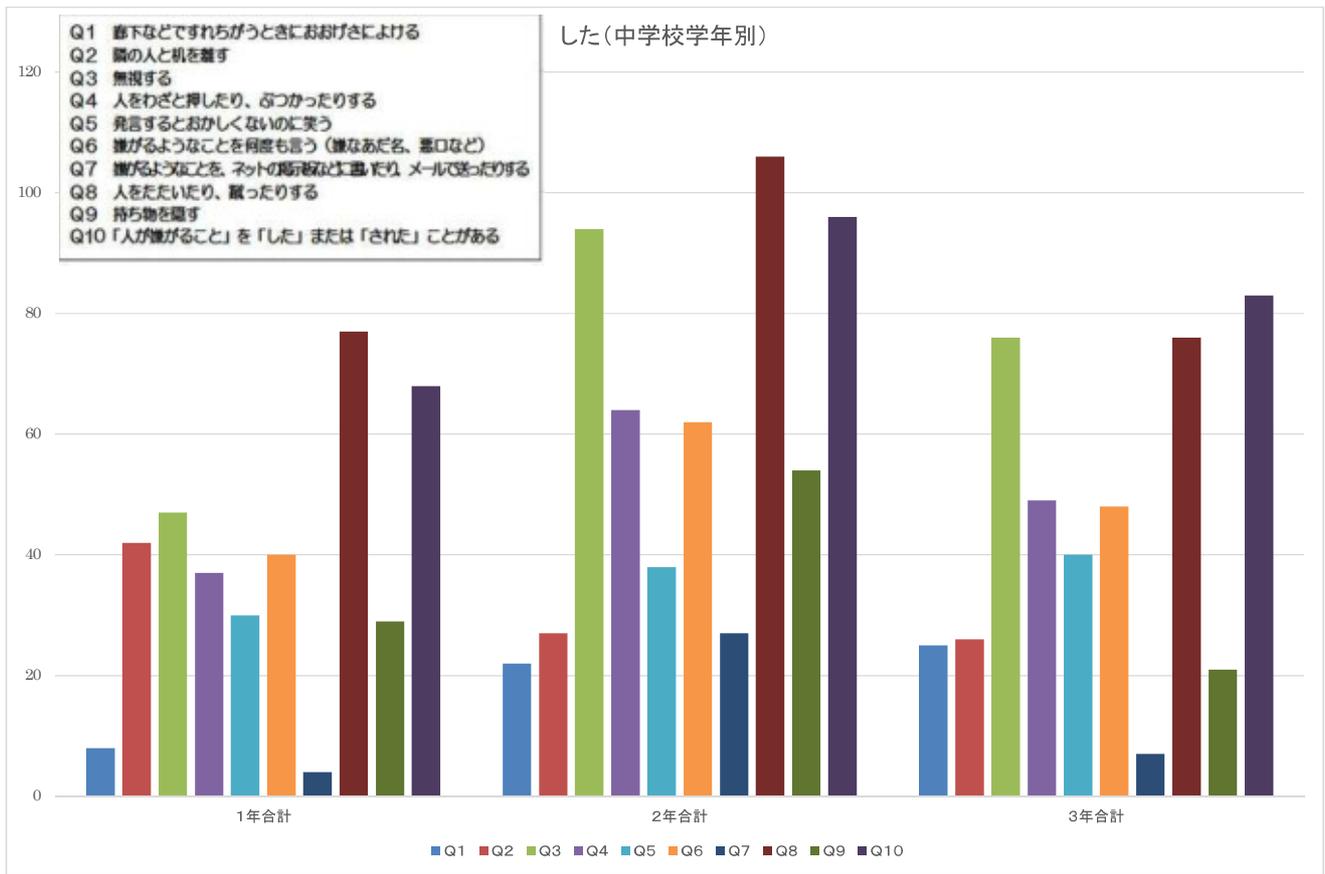
中学校で特徴的なことは、総体的に見て「した側」の意識が高いのは2年生で、「された側」の意識が高いのは1年生であるという点である。中学校1年生は、いくつかの小学校から集まり、人間関係を築いていく中で、「した側」と「された側」の意識のずれが大きいことが読み取れる。不登校の統計の中でも、中1で不登校になるケースが多く、中1の生徒に対して、十分な注意を払う必要があることが分かる。逆に3年生については、1つの設問以外は、「された」と答えた人数が一番少なく、ある程度精神的な成長と、クラスの間関係の構築が進んでいることが推察できる。

①嫌なことをした側・された側の比較から

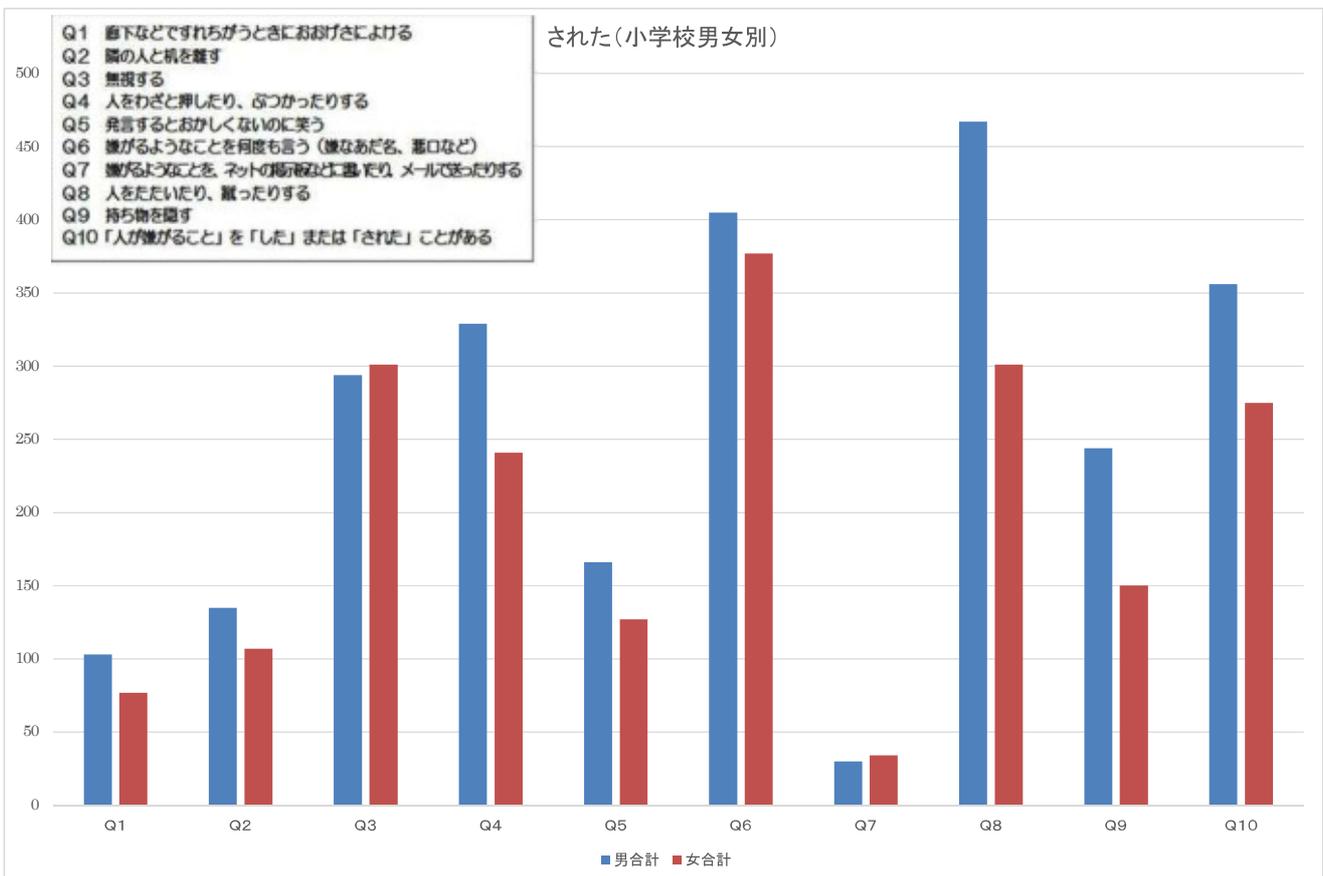
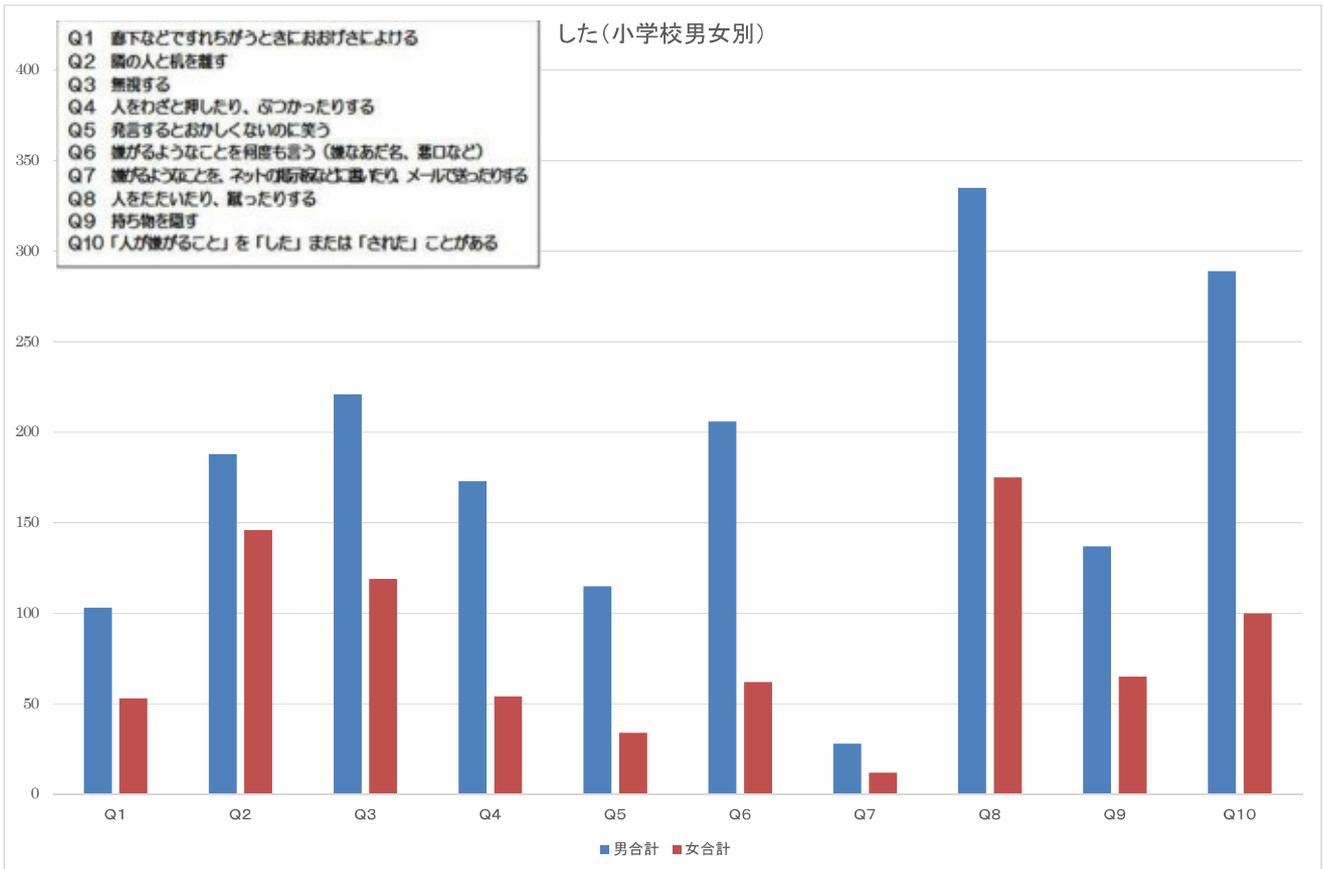


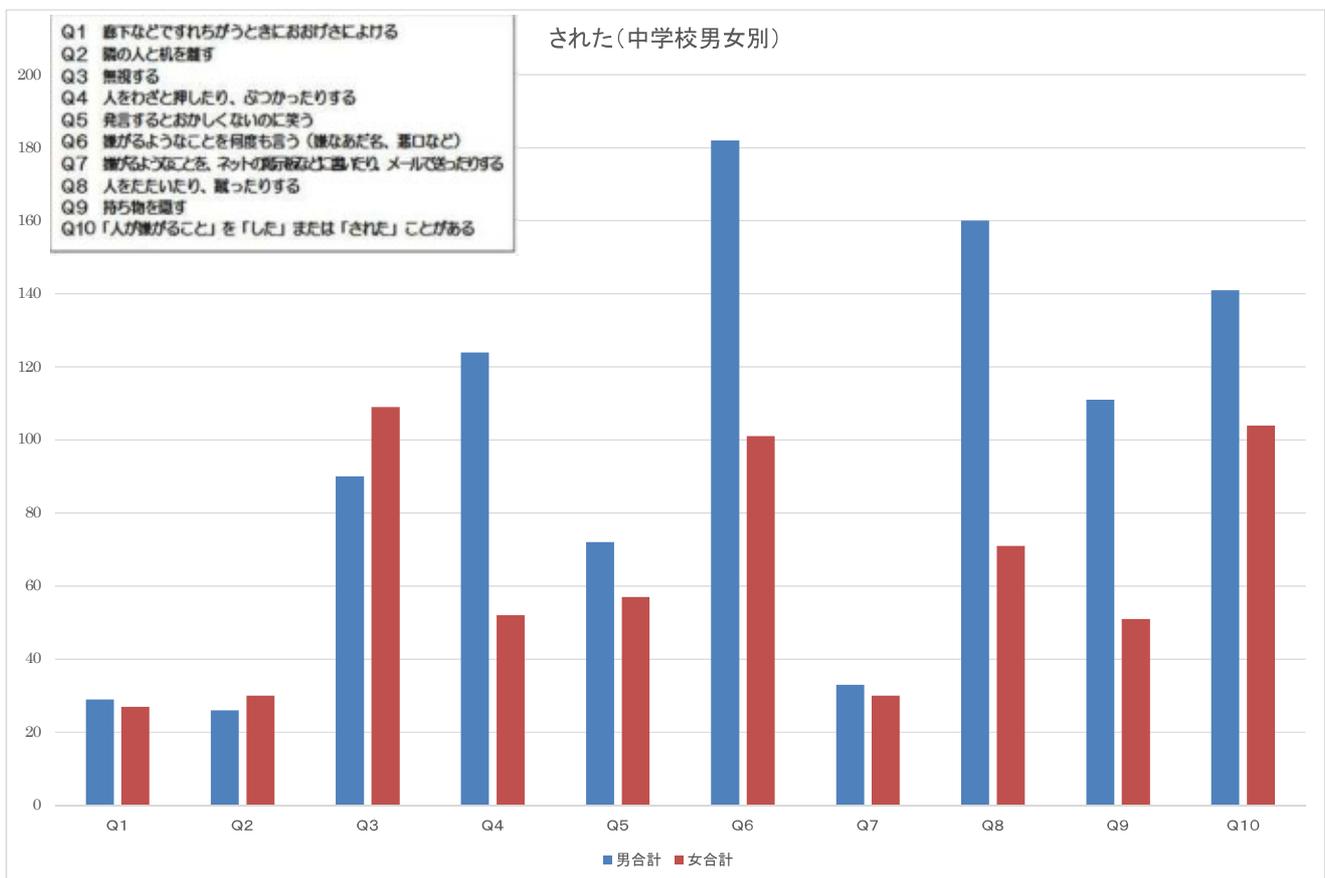
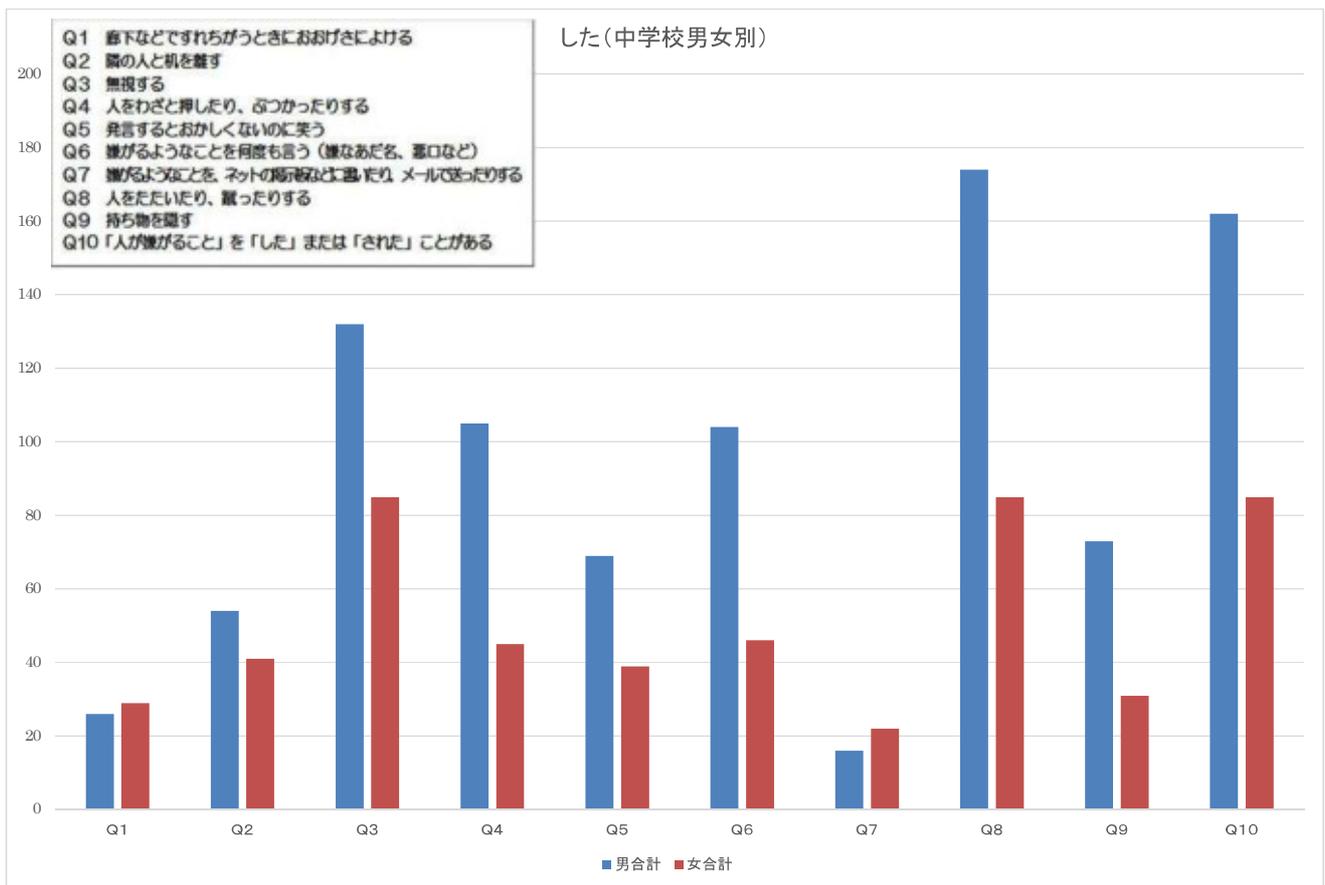
②学年別の嫌がらせの態様から





③男女別の嫌がらせの態様から





④設問別の嫌がらせの態様から

